

新型コロナ対策に、長引く自粛生活、油断をすると第二波、第三波が来ると言われて、会員の皆様も心身ともにお疲れとお察しします。また、入所、通所を問わず「クラスター防止」に細心の注意を払って支援を続けられている皆様に、心から感謝しています。

政府の専門家会議や厚労省からは、コロナの後をも見越した「新しい生活様式」と「具体的実践例」が示されました。

ワクチンや特効薬が実用化されるまで、少なくとも1~2年は続けていく必要があると注意を促しております。

多項目にわたっていますが、必ず実践すべき項目は、「身体的距離の確保」「マスクの着用」「手洗い」の三つ。

「心をひとつに全国大会の成功」と呼びかけた、昨年11月の第6回全国手をつなぐ育成会全国大会は、新しい熊本城ホールのプレオープンイベントとして開催しました。

「一人ひとりを認め合う社会の実現

感染防止の基本原則です。実践例はなるべく多く示した方が参考となるだろうと作られています。

自分を守り、相手を守る。思いやりのある行動の具体例としてとらえ、必要なこと、出来ることは続けていく。やつていい人を責めることは絶対しない、心を広く持つて、正しい知識を身につけ、冷静に行動することが大切だと思います。

「心をひとつに全国大会の成功」と呼びかけた、昨年11月の第6回全国手をつなぐ育成会全国大会は、新しい熊本城ホールのプレオープンイベントとして開催しました。

「一人ひとりを認め合う社会の実現



社会福祉法人
熊本県手をつなぐ育成会
会長

川村隼秋

全国大会を終え 原点に思う

心とこころ

第32号

人ぐる行
人ぐる行
会福社法
会福社法
熊本県手をつなぐ育成会
熊本県手をつなぐ育成会
熊本市中央区南千反畑町3-7
熊本県総合福祉センター2F
TEL(096)352-4149
令和2年7月1日発行

大会のスローガンに、2日間で4千人を超える会員や関係者が全国から参加しました。大会開催に当たり、県育成会と地育成会及び事業所等が、一体となって取り組むことが出来たことは大きな成果がありました。会員並びに関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

ところで、「心とこころ」の創刊は、昭和63年8月1日、当時の倉重末喜会長は、「創刊にあたつて」と題して、次のような決意を述べています。(精神薄弱は知的障害に)

私達の育成会は、知的障害者の「生き甲斐」と「しあわせ」を求めて、すでに33年のあゆみを刻んでいます。昭和61年12月社団法人の許可を受け、翌年5月に授産施設「熊本こすもす園」の運営を県から委託され、さらに昭和63年4月、社会福祉事業法に基づく社会福祉法人の認可を受け、責任の重大さに痛感している。

これを契機として、知的障害者が地域社会の中で、人としてうけいれられ「共に育ち」「共に生きる」環境の育成に努めなければならないと覚悟を新たにしている。

ことに現代の複雑な社会の仕組みにおいては、個々の力には限界がある。同じ立場にある人達が、関係者と共に手をつなぎ「子供たちのしあわせ」のため勇気をもつて努力することが望まれる。(以上要約)

創刊から33年目、大会を終わって、スローガンに、また、「助け合い、励ましあつて、つなごうばい」を本人返つてみました。

昨年、施設協会県大会に参加し、永年勤続被表彰者の「こんなに笑う機会があり、楽しい職場はない」との言葉が印象に残った。

もちろん、支援者として知的・発達障がい者を差別し軽侮しているのではない。むしろ本人達のユニークな言動を好意的にユーモアと解していられるだろう。

例えば、ノーベル賞作家大江健三郎(ご子息が知的障がい者)が「障がいは個性である」と語り大きな波紋を広げた。私は初めて耳にしたとき、それが世間で通用するかと違和感を覚えたが…。

しかし、これから知的・発達障がい者の支援には障がい特性をユーモアと受け止める感覚は大切ではないか。少々危惧の念はあるものの、その視点から過剰な深刻感を軽減できるかも知れない。

それでは、糸賀一雄先生達の思想は古びたのか。時代背景が分からなければ先生達の深い愛情は伝わらないと思う。私は「共生社会」実現の根底に形だけではない真心が欠かせないという想念を抱いている。

聖書も仏典も物に限らず、心も分かち合えば充足し、ひとりで背負うと孤立すると説いているよう思う。多様な価値観を尊重し、知的・発達障がい福祉の世界に幸多き未来が用意されていることを望まずにはいられない。

心の声

全国大会熊本大会

ありがとうございました

第6回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会熊本大会は、令和元年11月23日（土）、24日（日）の2日間、熊本の新しいシンボルである「熊本城ホール」のプレオーパンイベントとして開催しました。大会には、2日間で4,000人を超える会員やご来賓の皆様を全国各地からお迎えして、盛会のうちに終えることができました。

大会の開催にあたりご支援とご協力を賜りました熊本県並びに熊本市をはじめ、全育連・九育連、関係諸団体には心より感謝申し上げます。さらに、大会まで一丸となつて取り組んでいただいた大会実行委員や県内の各会員の皆様にお礼申し上げます。

参加者総数	2,301人
<内訳>	
育成会大会	1,207人
本人大会	560人
思い出観光	316人
来賓等	74人
ボランティア	144人
(特別支援学校、特別支援学級、大学、一般)	



全体会会場



記念講演 小山薰堂氏



本人大会宣言



分科会



本人大会分科会 (山鹿八千代座)



懇親会

熊本市手をつなぐ育成会から

『くまくま隊!!』

熊本市手をつなぐ育成会

若松 真由美

知的障がい・発達障がいって?
学校や地域で「ちょっと変わった子、人」って見かけませんか?

障がいをわかつていないと、仲間はずれにされたり、からかわれたり、無視されたりするかもしれません、障がいの特性を知つていれば、声かけしたり、手助けができるのではないか

うか。

そこで全国各地の育成会が、近年、疑似体験を通して（例え、不器用さ・見え方・言葉の理解・抽象的な指示・・・など）そのちょっととした関わり方の方法を知つてほしいという願いで『啓発キヤラバン隊』を結成し、活動しています。

私たち熊本市手をつなぐ育成会も、知的障がい者相談員のメンバーが中心となつて『くまくま隊』として活動しています。（現在はコロナ感染拡大防止の影響



疑似体験研修会の様子

で活動は自肅中）

この啓発キヤラバン隊が地域の育成会でも広がることを期待しています。そして（各育成会どうし手をつないで）ひとりでも多くの方に関わるポイントを知つてもらい、障がいのある人々が豊かに生活できるようになることを願つて活動を続けていきたいと思います。

※お問合せ

熊本市手をつなぐ育成会
『くまくま隊』へ

『啓発キヤラバン隊』の輪を広げましょ

輪を広げましょ

知的障がい・発達障がいのある人たちの理解と啓発を図るため、全国手をつなぐ育成会が進めています。本県では熊本市育成会が取り組んでおり、各地域の育成会にもキヤラバン隊の輪を広げましょ。

り、各地域の育成会にもキヤラバン隊の輪を広げましょ。

1 はじめに
令和2年3月、全国手をつなぐ育成会は一般社団法人化して東京事務所を設置。理事会役員として又村あおいさんを迎えた。

2 大規模災害への備え

2017年度から災害支援基金を創設。地震、風水害、その他の災害により甚大な被害を受けた会員への災害見舞金、被災地への支援活動に充てる。迅速に対応できるよう蓄え備える。

3 地域資源開発の取組

「地域資源開発協働推進ハンドブック」を作成。サービスの地域格差解消をめざし全国に普及させ地域レベルで活性化させる。

4 地域育成会の活性化に向け

研修や権利擁護等について、市町村レベルで計画的、効果的に取り組めるよう企画する。政策提言や権利擁護を充実させ、各地の育成会と情報共有を効果的に進めます。

（2020年度事業計画から抜粋）

全育連からのお知らせ

令和2年度 熊本県手をつなぐ育成会 法人本部事業計画（要旨）

1 基本主題 「誰もが住みなれた地域で、安心して暮らせる社会の構築」

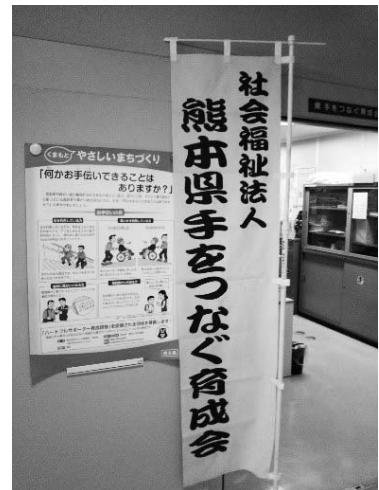
2 本年度テーマ

- ①知的障害者に対する正しい理解・啓発を進める。
- ②令和2年度熊本県手をつなぐ育成会天草大会を「天草白い雲の会」と連携して開催する。（中止）
- ③各地域育成会の活性化と会員の増員を連携して進める。
- ④育成会事業所と連携を強化して活動を支援する。
- ⑤県手をつなぐ育成会からの情報発信のあり方を改善する。

3 重点事項

○知的障害者の理解・啓発事業の推進

- ・県育成会天草大会における啓発（絵手紙コンテスト、疑似体験プログラム）
- ・知的障害者相談員・生活協力員との連携及び研修会の実施



○地域育成会の活性化と会員の増員

- ・啓発キャラバン隊の設置の推進
- ・「地域資源開発協働推進ハンドブック」の活用による研修会の実施
- ・各地域育成会の組織化と会員・賛助会員の増強

○障害者関係諸制度策定への提言

- ・改正障害者総合支援法の施行後の状況把握と推進
- ・知的障害者の権利擁護・特別支援教育の推進と啓発

○就労支援事業の推進

- ・事業所協議会研修会の実施・各育成会事業所との情報共有

○その他

- ・ふれあい喫茶「りんどう」の経営改善
- ・県手をつなぐ育成会からの情報発信の改善（フェイスブックの充実、パンフレットの活用）

事業所協議会研修会

「全国手をつなぐ育成会連合会事業所協議会加盟事業所」の職員を対象に、毎年1回開催しています。昨年度は、令和2年2月19日（水）に県総合福祉センター会議室で行い、県内18事業所と2地域育成会から29人の参加がありました。

今回は、全国大会熊本大会の分科会で提案した、「くまもとクロスロード研究会の方を講師に招き、「福祉事業所と地域とのかかわり～防災の視点で～」と題して講演をいただきました。参加者からは、「忘れかけていた地震に対する防災、特に地域とのつながりの大切さを改めて感じた」などの感想がありました。

午後からは、「熊本県における工賃向上計画」について県障がい者支援課からの行政説明、とら太の会（八代市）とのぞみ作業所（天草市）からの実践発表がありました。「熱い気持ちを持った発表で感動した」「強い信念で運営している」など、事業所の実践にとても刺激を受けたようです。

【今年度の研修会】

令和3年2月17日（水）予定



実践発表の風景

【絵手紙コンテスト作品募集！】

熊本県手をつなぐ育成会では、知的障がいをはじめとする様々な障がいのある人に対する県民の理解を深めるため、「絵手紙コンテスト」を今年から新しく始めました。

熊本県では、平成24年（2010年）に「障害のある人も共に生きる熊本づくり条例」を制定して共生社会の実現をめざしています。県育成会主催の絵手紙コンテストが、条例のさらなる普及と共に生きる熊本の実現につながることを願っています。多くの応募をお待ちしています。

作品規定 官製はがき（はがきサイズの用紙可）に絵とメッセージで「障害のある人も共に生きる熊本づくり」を表現

応募方法 育成会会員・本人・家族、事業所利用者・職員・家族、小中高・特別支援学校の児童生徒、一般の方など（どなたでも応募できます）☆住所、氏名、電話番号、所属名を明記

応募締切 2020年（令和2年）9月30日（水）

応募先・問合せ先 ☎ 860-0842
熊本市中央区南千反畠町3-7
熊本県手をつなぐ育成会 ☎ 096-352-4149

発表・表彰 2020年10月末発表予定・優秀作品には賞状と記念品を贈呈

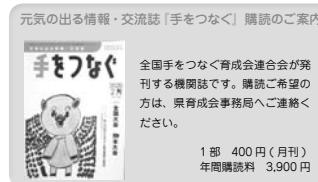
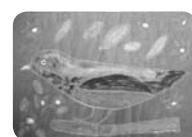
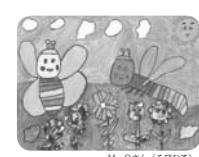
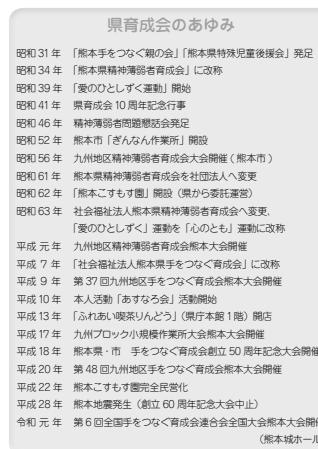
展示・掲載 優秀作品・入選作品は熊本県庁内「ふれあい喫茶りんどう」に展示 会報誌・フェイスブック・HPに掲載予定 ☆詳しくはチラシ・フェイスブック・HPをご覧ください。

県育成会リーフレットができました！

熊本県手をつなぐ育成会の組織や活動の様子を多くの県民の方に知っていただきため、「リーフレット」を新たに作りました。

組織図や主な活動・あゆみにより、県育成会の概要が一目で分わかります。また、運営施設である「熊本こすもす園」と「ふれあい喫茶りんどう」の様子も掲載しました。表紙には、育成会事業所「るびなす」の利用者さんと宇城育成会の本人さんから素晴らしい絵を提供していただきました。

リーフレットを各地域育成会等でご利用の際は、事務局までお知らせください。なお、県育成会のフェイスブック、HPに掲載していますのでご覧ください。



リーフレット（表）

地域育成会から

菊池圏域育成会は就労支援センター「ふくとく」と就労継続支援B型事業所「菊池ひまわりの会」で構成されています。B型事業所では、軽作業班と農耕班に分かれてそれぞれの能力に応じた作業に取り組み生産活動を行っています。

ひまわりの会は、平成4年障がいのある子を持つ親の会として発足、以来30年子供たちと歩んできた長い道のりがあります。平成15年、現在の地に作業所を建設、育成会の一員として県内外の施設・団体との交流や学習を通して多くの学びを得ることができました。

昨年11月熊本城ホールのプレオープンと銘打ち「第6回全国手をつなぐ育成会全国大会」で「一人ひとりを認めあう社会の実現」～熊本の心を全国に～又、本人大会では「助け合い、励まし合ってつなごうばい」をスローガンに掲げ、賑々しく開催されました。当施設も利用者の皆さん・職員全員で本人部会に参加し、全国から来られた

ながま

大津支援学校高等部では紙工班としてはがきなどを作っていました。卒業してからは、山鹿ゆうあい園に通っています。「ゆうあい園」では、主に「さをり織り」の作業を行っています。

「さをり織り」は、1968年に大阪で始まった手織りの手法の一つです。これは、新しい考え方の手織りで、「自分の持つて生まれた感性を最大限に引き出す」事を主眼に置いた画期的な手織りです。自由に自分の好きな色の縦糸を選び、横糸も色を変えながら自分のペースで織っていきます。織る作業は単純ですが根気のいる仕事です。色合いを考えながら、出来上がったデザインを見るのを楽しみにがんばっています。(右の写真は、私が織った最近の作品が出来上がったところです。)

また、「さをり織り」以外にも、スケッチブックに食べ物やロボット等の絵を描いたり絵本を読ん

菊池圏域手をつなぐ育成会

2000人以上もの多くの仲間と共に思いを共有することができ素晴らしい思い出となりました。

今、日本のみならず、世界中で新型コロナウィルスの猛威が吹き荒れ、経済崩壊も危ぶまれる程大変厳しい状況となり皆さんの笑顔も曇りがちですが、色々な規制がある中、少しでも笑顔が輝けるよう皆で工夫しながら日々活動に取り組んでいます。熊本地震で得た課題・教訓を糧に今回のコロナにもめげない心で対峙しながら、これからも地域に根ざした福祉施設を目指して、一步一步歩んでいきたいと思っています。



山鹿市手をつなぐ育成会山鹿分会

こうづまけいいちらう
上妻慶一郎さん 昭和54年5月29日生(41歳)

だりして毎日楽しく過ごしています。他にも、卓球や農作業など体を動かす活動も頑張っています。先日は、ゆうあい園の裏の畑に植えた玉ねぎをみんなで収穫しました。とれた玉ねぎで料理を作って楽しみたいと思っています。



育成会事業所紹介

NPO法人花梨の家わがんせ

NPO法人花梨の家わがんせは、「社会参加を通して地域で役割を果たしたい」と願う働く仲間たちとそれを支える職員、地域の人々と家族が活動しています。昭和61年「おもちゃ図書館」としてスタートし、平成14年4月に作業所「わがんせ」を開所、翌15年11月に現在の場所に新築移転しました。平成18年1月に「NPO法人花梨の家」として認証され、障害者総合支援法の指定サービス事業多機能型「わがんせ（生活介護）」を、そして平成23年2月にオープンした「にこにこわがんせ（就労継続支援B型）」を運営しています。作業は、「人に喜ばれるもの」をと、パンやクッキーなどの食品を注文販売の配達やバザー販売をしています。またダンパーやラッカサン等の受注作業も行っています。

さらに、地域清掃活動やふれあい活動、ウォーキングやストレッチ、ヨガ体操、音楽療法等を楽しみ

ながら健康に留意して実施しています。

また、平成25年5月には相談支援事業所「わっしょい」を開設しました。様々な福祉サービスを利用しながら、地域で安心して暮らすことを支える要になると感じています。わがんせ（和顔施）の意味にもあるように『和やかな笑顔で周りの人々を幸せにする』ことを目指して事業を展開しています。現在利用者36名、職員22名と毎日楽しく賑やかに頑張っています。今後ともご指導とご支援をよろしくお願い致します。



熊本こすもす園から

当施設は昭和62年度熊本県の知的障害者入所授産施設として設置され、平成22年度には県から譲渡を受け、民営化され障害者支援施設として施設入所支援及び生活介護事業を運営しています。建築後33年が経過し内装設備等に老朽化が見られるようになりました。その間、平成13年度と平成20年度に小規模改修は行いましたが、令和元年度熊本県障害者福祉施設整備費補助金の採択を受けて、大規模修繕工事に着手し、年度を越え

＜全体工事＞LED照明への変更、天井塗替え、壁塗替え、クロス張替え、ドアノブ改修、廊下手摺設置等

＜部分工事＞宿泊棟洗面所・トイレ・脱衣所・浴室の全面改修、中庭デッキの改修、調理室庇の設置、管理棟トイレ改修等



洗面所



浴室

大規模修繕工事完成

ましたが5月31日に竣工することができました。

開設当初と比べ夜間、日中の利用者数の減少、生活様式の変化、利用者の高齢化、障がいの重度化等への対応が必要でした。宿泊棟洗面所・トイレ・脱衣所などは車いすで通れるようになりました。今後も利用者の方々の生活の質の向上に取組んでいきたいと思います。



トイレ



中庭

熊本県からのお知らせ

「ヘルプカードを知っていますか？」

熊本県健康福祉部健康福祉政策課



↑カード表面

名刺サイズで
使いやすいです！

ストラップを通して
バッグ等につけられます！

↓カード裏面

私が手伝ってほしいこと

例1：会話を理解するのが苦手です。わかりやすい言葉でゆっくり話してください。
例2：パニックに陥ることがあります。緊急時は下記までご連絡ください。
〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

熊本県では、病気や障がいのある方などが、援助や配慮を必要としていることを周囲の方に知らせる「ヘルプカード」を配布しています。

ヘルプカードは、配慮してほしいことや手伝ってもらいたいことを記入し、身に付けることで「支援が必要な人」と「支援ができる人」をつなぐ架け橋となります。

ヘルプカードは、災害が発生した時などの緊急事態だけでなく、日常でちょっとした手助けが欲しいときなど幅広い場面で活用でき、自分から「困った」と伝えられない場合であっても、ヘルプカードを身に付けていれば、必要な援助を受けることができます。

県の健康福祉政策課や各保健所の窓口、各市町村の福祉担当窓口において無料でお渡ししておりますので（申請手続き等も不要）、詳しくは県のホームページをご覧ください。

熊本県 ヘルプカード

検索

《お問合せ先》

熊本県健康福祉部健康福祉政策課

地域支え合い支援室 地域福祉班

TEL：096-333-2201（直通）

支援学校・支援学級紹介

熊本市立あおば支援学校

本校は熊本市立の特別支援学校として平成さくら支援学校に次いで2校目の特別支援学校です。城東小学校と藤園中学校と同じ敷地内にあり、日常的に子どもたち同士が触れ合うことのできる環境にあります。また、校舎より西を望めば熊本城、東には坪井川が流れ、熊本市の中心となる商業施設も近くにある素晴らしい立地条件です。よろしくお願ひします。

めざす学校像



2020年4月開校

(学校リンク)

熊本市立あおば支援学校

本校の特色

◇みんなが誇れる学校

- ・児童生徒が、毎日喜んで登校する学校
- 主体的・意欲的に学ぶ学校
- ・保護者が、安心して送り出せる学校
- ・教職員が、生き生きと働く学校

◇特別支援教育のセンター的役割を果たす学校

- ・教職員、保護者等の相談に応える学校
- ・学校（園）へ専門的な助言ができる学校

○城東小学校・藤園中学校と隣接した立地を生かした日常的な交流及び共同学習。

○児童生徒一人一台のタブレット端末（iPad）、各教室に電子黒板、実物投影機を設置。



八代市立宮地小学校

全校児童163名の中で、知的障がい学級（にこにこ学級）に在籍している児童は2年生1名、3年生1名、4年生1名、5年生1名、6年生1名の計5名です。

4年生は、元気な朝の挨拶が学校中に響き一日が始まります。6年生は、特別支援学級でのお手本になれるよう日々努力しています。3年生は、授業の始まりや終わりの号令を率先して引き受けてくれます。5年生は、難しくなる学習に粘り強くチャレンジしています。2年生は、そんな仲間たちの様子を見ながら好ましい基本的生活習慣や学習規律を学んでいます。



「人権集会時の感想発表」

また、交流学級での学習時には、「一緒に行こう」と、声をかけてくれる大勢の素敵な仲間もいます。

学校教育目標「人権教育を基底とし、心を磨き合い、主体的に学び続け、未来を創る子どもの育成」を掲げ、研究主題「学んだことをつなぎ伸び合う子どもの育成～自他を認め合う集団づくりと確かな学力の定着を基盤として～」を目指し、毎学期、人権月間を設定しています。日常生活の中でお互いの違いを認め合い、尊重し合う、という当たり前のことが実践されている学校です。「頭を鍛え、体を鍛え、心を磨き」ながら、伸び伸びと毎日元気にがんばっています。



「学習時のICT活用」

令和2年度

社会福祉法人 熊本県手をつなぐ育成会理事・監事・評議員名簿

【理 事】

役 職	氏 名	所 属
会 長	川村 隼秋	学識経験者
副 会 長	石本 通夫	八代育成会
副 会 長	栗川 亮一	山鹿市育成会
副 会 長	西 正 道	県特研会長 (特)
常 務 理 事	甲斐 憲彦	事務局長 (特)
理 事	西 惠 美	熊本市育成会
理 事	沼田 宗生	熊本こすもす園長 (特)
理 事	石田 浩一	芦北郡育成会
理 事	高橋 次郎	熊本市育成会
理 事	作本 弘美	宇城市 (特)
理 事	堤田 照一	天草白い雲の会
理 事	井本 臣哉	玉名市育成会
理 事	中嶋 真也	荒尾市育成会

【評 議 員】

役 職	氏 名	所 属
評 議 員	中村 立行	学識経験者
評 議 員	中村 敬子	学識経験者
評 議 員	武元 典雅	施設協会会長 (学)
評 議 員	北島 和子	宇城育成会
評 議 員	山口 幸明	長洲町育成会
評 議 員	谷口 建太	玉名市育成会
評 議 員	新 浩二	天草白い雲の会
評 議 員	上野 希久代	宇土市育成会
評 議 員	田中 由紀	山鹿市育成会
評 議 員	堅島 陽子	熊本市育成会
評 議 員	蓑田 保	八代育成会
評 議 員	甲斐 純代	学識経験者
評 議 員	迫 みゆき	ひとよし育成会
評 議 員	上村 美智子	こすもす園家族の会

【監 事】

役 職	氏 名	所 属
監 事	仲次 利光	税理士
監 事	服部 法義	元福祉施設長



北

令和2年度 地域育成会一覧

南

会名	代表者名	郵便番号	連絡先(事務局等)住所	電話 FAX
熊本市 手をつなぐ育成会	西 恵美	860-0004	熊本市中央区新町2丁目4-27	096-352-0010 096-352-1459
八代 手をつなぐ育成会	蓑田 保	866-0084	八代市植柳新町2丁目26-3	0965-32-2550 0965-32-2550
山鹿市 手をつなぐ育成会	栗川 亮一	861-0501	山鹿市中619-3 もくせい学園	0968-44-7647 0968-44-7664
玉名市 手をつなぐ育成会	作本 幸男	865-0016	玉名市岩崎1299-1 若葉作業所	0968-74-1628 0968-86-8617
ひとよし 手をつなぐ育成会	宗像千登世	868-0086	人吉市下原田町羽田340-2	0966-24-1685 0966-22-6399
宇土市 手をつなぐ育成会	井上 みか	869-0410	宇土市城之浦町218	0964-53-9920 0964-53-9920
宇城 手をつなぐ育成会	北島 和子	869-0502	宇城市松橋町松橋1926-5	0964-33-0366 0964-33-0366
荒尾市 手をつなぐ育成会	藤岡 瞳子	864-0041	荒尾市平山1637	090-7580-3967 0968-66-3740
天草 白い雲の会	堤田 照一	863-0002	天草市本渡町本戸馬場2179-1 本渡青年会議所内	0969-24-0718 0969-24-0723
芦北郡 手をつなぐ育成会	石田 浩一	869-5563	芦北郡芦北町大字花岡1702-13	0966-82-3560 0966-82-3560
菊池圏域 手をつなぐ育成会	崎村 弥生	869-1207	菊池市野間口567-4 ひまわりの会	0968-25-5141 0968-25-5141
熊本市 植木町 手をつなぐ育成会	松田 耕平	861-0143	熊本市北区植木町大和63-13	096-273-0735 096-273-0735
玉名郡 長洲町 手をつなぐ育成会	山口 幸明	869-0105	玉名郡長洲町清源寺3246 ひまわりの里	0968-78-0589 0968-85-7755
熊本こすもす園 家族の会	上村美智子	865-0072	玉名市横島町横島10224-3	0968-84-2894 0968-84-2894
玉名郡 玉東町 手をつなぐ育成会	松井真代子	869-0312	玉名郡玉東町二俣72 るびなす	0968-84-7858 0968-84-7858
山鹿市 手をつなぐ育成会 山鹿分会	田上 明利	861-0501	山鹿市山鹿1328-1 山鹿ゆうあい園	0968-43-8518 0968-43-8518
山鹿市 手をつなぐ育成会 鹿本分会	富田 徹也	861-0331	山鹿市鹿本町来民1267番地1 鹿本中学校	0968-46-2076 0968-42-3040
山鹿市 手をつなぐ育成会 菊鹿分会	田中 由紀	861-0406	山鹿市菊鹿町下内田485 菊鹿中学校	0968-48-2034 0968-48-3194
山鹿市 手をつなぐ育成会 米野岳校区分会	木下 幸美	861-0561	山鹿市鹿央町岩原1350番地 米野岳中学校	0968-36-3151 0968-36-3152
山鹿市 手をつなぐ育成会 鹿北分会	酒井 洋史	861-0601	山鹿市鹿北町四丁1464番地 鹿北中学校	0968-32-2019 0968-32-3797
上益城郡 益城町 手をつなぐ育成会	濱田 龍郎	861-2235	上益城郡益城町福富772 九州ラーメン党そよかぜ福祉作業所	096-287-8223 096-287-8230

令和2年度
全国手をつなぐ育成会連合会 事業所協議会加盟事業所

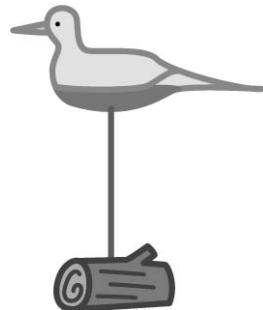
事業所名	郵便番号	所在地	電話 FAX
ゆうあい園	861-0501	熊本県山鹿市山鹿 1328-1	0968-43-8518 0968-43-8518
第二ぎんなん作業所	862-0975	熊本県熊本市中央区新屋敷 3-9-7	096-371-9381 096-371-9381
ふれあいワーク	861-8006	熊本県熊本市北区龍田 9丁目 2-21	096-338-4213 096-338-4213
花梨の家 わがんせ	864-0041	熊本県荒尾市荒尾 1694-1	0968-62-1175 0968-62-1175
こまちの森	861-0125	熊本市北区植木町小野 128	096-273-2705 096-273-2705
カサ・チコ	861-4171	熊本県熊本市南区御幸西 2-659-3	096-223-8710 096-223-8711
サンシャインワークス	861-1115	熊本県合志市豊岡 2000-1653	096-248-7273 096-248-7274
ふくとく	869-1207	熊本県菊池市旭志新明 669-2	0968-37-3772 0968-37-3782
菊池ひまわりの会	861-1324	熊本県菊池市野間口 567-4	0968-25-5141 0968-25-5141
若葉作業所	865-0016	熊本県玉名市岩崎 19299-1	0968-74-1628 0968-86-8617
なづな工房	861-4152	熊本市南区富合町清藤 88-2	096-358-0023 096-243-0727
就労支援センターくまもと	861-5535	熊本市中央区貢町 780-8	096-288-1752 096-288-1753
まつの木作業所	869-0532	熊本県宇城市松橋町久具 2440	0964-32-3500 0964-32-3634
るびなす	869-0311	熊本県玉名郡玉東町二俣 72	0968-84-7858 0968-63-1860
まんさく園	866-0885	熊本県八代市永碇町 961-1	0965-31-7440 0965-32-1400
みのり	866-0802	熊本県八代市妙見町 2377-3	0965-30-0701 0965-30-0702
白いキャンバス	868-0036	熊本県人吉市二日町 17-1	0966-22-6399 0966-22-6399
アート工房 クレヨンの森	868-0302	熊本県球磨郡錦町一武 2196-2	0966-38-2435 0966-38-2435
カムワークたんぽぽ	868-0502	熊本県球磨郡多良木町黒肥地 1625-4	0966-42-6114 0966-42-6114
のぞみ作業所	863-0031	熊本県天草市栄町 4-13	0969-22-7485 0969-22-7485
そよかぜ福祉作業所	861-2235	熊本県上益城郡益城町福富 772	096-287-8223 096-287-8230
八代農林	866-0005	熊本県八代市郡築八番町 75	0965-46-5770 0965-46-5771
もやいの丘	816-8045	熊本県熊本市東区小山 2丁目 27-13	096-349-0206 096-349-0207

令和2年度 知的障害者相談員名簿

5月22日現在

No.	圏域	氏名	市町村
1	熊本	堅島 陽子	熊本市
2	熊本	東 澄子	熊本市
3	熊本	中村 淳子	熊本市
4	熊本	若松真由美	熊本市
5	熊本	山本 博子	熊本市
6	宇城	北島 和子	宇城市
7	宇城	塘端 博子	宇土市
8	宇城	有村トヨ子	美里町
9	上益城	甲斐 武子	御船町
10	上益城	玉作 恵子	益城町
11	上益城	吉川 真	山都町
12	菊池	崎村 弥生	菊池市
13	菊池	西村 亜圭未	合志市
14	菊池	北村 豊子	大津町
15	菊池	田尻 貴子	菊陽町
16	有明	井本 臣哉	玉名市
17	有明	宮 貴美代	玉名市
18	有明	中川 さおり	荒尾市
19	有明	中嶋 真也	荒尾市
20	有明	北山 貴久子	南関町
21	有明	前嶋 信子	長洲町
22	有明	嶋添 由理子	和水町
23	鹿本	池田 よし	山鹿市
24	鹿本	上田 博子	山鹿市
25	阿蘇	内田 博美	阿蘇市
26	阿蘇	井 悅子	南小国町
27	阿蘇	綿貫 美香	小国町
28	阿蘇	二村 真純	高森町
29	阿蘇	廣瀬 るみ子	西原村
30	八代	庄野 末藏	八代市

No.	圏域	氏名	市町村
31	八代	小嶋 ひろみ	八代市
32	八代	樽海 哲子	八代市
33	八代	宮崎 ゆみ子	八代市
34	芦北	岡部 初美	芦北町
35	芦北	開田 いつみ	津奈木町
36	球磨	遠山 竜太	錦町
37	球磨	高山 孝子	多良木町
38	球磨	川内 俊博	球磨村
39	球磨	森岡 しきり	あさぎり町
40	天草	櫻田 由布子	天草市
41	天草	猪口志 真由美	天草市
42	天草	嶋津 美千代	天草市



県庁内喫茶店『ふれあい喫茶 りんどう』から

「ふれあい喫茶 りんどう」のご利用ありがとうございます。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月中旬から店内の座席数を減らしています。お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を願いします。1日も早い終息を願うばかりです。



「りんどう」の店内には、作品などを展示できる交流スペースがあります。これまで、県内の福祉事業所や特別支援学校の紹介や作品の展示を行ってきました。今回、新たに障がい者芸術展等に出展される人たちの絵画を展示しました。これまでとは多少違う雰囲気を店内で味わっていただけると思います。

また、平成13年にオープンした「りんどう」は、来年(令和3年)11月に開店20周年を迎えます。県庁内をはじめ来庁される多くの皆様のご支援でこれまで続けることができましたが、運営面では大変厳しい状況にあります。さらに多くの方に知っていたらともに運営面でのご協力を賜りたく、特別協賛会員(コーヒー券の特典付き)やコーヒーデリバリーサービスなど新しい企画を始めました。これまでのメニュー同様、よろしくお願いします。ご協力いただける方は店長までお知らせください。

県庁内喫茶店
ふれあい喫茶 **りんどう** からの お知らせ

新企画

- ★ コーヒー券
1枚綴 3,000円
- ★ コーヒー デリバリーサービス
1ポット(約20杯) 2,500円
会議や勉強におすすめ
※県庁内の会場までお届けします

募集中

★ 特別協賛会員
(りんどうの運営資金に協力ください)

年会費 10,000円 (コーヒー券12枚付)
5,000円 (コーヒー券6枚付) **特典**

★ ボランティア
接客や調理のお手伝いをしていただける方、歓迎!!
ご希望・ご相談は、店長まで

連絡先 ふれあい喫茶 **りんどう**
TEL 096-383-1111(内線5878) 県庁本館1F

ふれあい喫茶りんどうは、社会福祉法人熊本県手をつなぐ育成会が運営しています

熊本県手をつなぐ育成会 会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

障がいのある方とそのご家族をワイドにお守りする保険です

障がいのある方向けプラン

特長1 代理手続き・代理告知が可能です。

特長2 告知対象疾患の緩和を行います。

障がいのある方のご家族向けプラン

特長3 成年後見費用を補償します。



手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先(取扱代理店)に
資料請求をお待ちしております。

[取扱代理店]

 **ぜんち共済株式会社**

〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5
九段北325ビル4階

0120-322-150

TEL: 03-6910-0850
FAX: 03-6910-0851
URL: <http://www.z-kyosai.com/>
(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

[引受保険会社]

東京海上日動火災保険株式会社

公務第一部東京公務課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

TEL: 03-3515-4126 (営業時間: 平日9:00~17:00)

法人本部会計貸借対照表

令和2年3月31日現在

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	3,014,601	流動負債	436,362
現金預金	911,129	事業未払金	65,635
事業未収金	1,541,930	預り金	0
前払金	86,680	職員預り金	104,727
前払費用	474,862	賞与引当金	266,000
		負債の部合計	436,362
固定資産	1,050,002	純資産の部	
基本財産	1,000,000	基本金	1,000,000
基本財産特定預金	1,000,000	基本金	1,000,000
その他の固定資産	50,002	次期繰越活動収支差額	2,628,241
器具及び備品	2	(うち当期活動収支差額)	1,129,828
災害見舞金基金	50,000	純資産の部合計	3,628,241
資産の部合計	4,064,603	負債及び純資産の部合計	4,064,603

法人本部会計資金収支計算書

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

勘定科目		金額	勘定科目		金額		
福祉事業活動による収入	会費収入	2,576,500	福祉事業活動による支出	人件費支出	6,646,369		
	経常経費補助金収入	1,986,296		事務費支出	2,003,274		
	寄附金収入	509,490		事業費支出	147,364		
	助成金収入	0		分担金支出	2,838,500		
	受託金収入	116,000		助成金支出	89,940		
	共同募金配分金収入	0		災害見舞金基金支出	50,000		
	負担金収入	2,599,200					
	雑収入	867,668					
	受取利息配当金収入	121					
	事業区分間繰入金収入	4,200,000					
福祉事業収入計		12,855,275	福祉事業支出計		11,775,447		
当期資金収支差額合計							
前期末支払資金残高							
当期末支払資金残高							

